感性と実践が豊富な保育者養成を目指して
―中間調査報告から、領域「表現」に授業として保育内容に取り入れるべき表現法―

Aiming to train childcare workers with abundant sensibilities and practices
- From the interim survey report, the expression method that should be incorporated into the childcare content as a lesson in the area "expression" -

杉　山　真　規
Maki SUGIYAMA

１．はじめに

幼稚園教諭・保育士・保育教諭（以下、「保育者」とする）・小学校教諭を育成する、保育者養成機関では、教育・保育の実践現場で必要とされるピアノ伴奏力養成のために、ピアノ実技レッスン時間を必修、又はそれに準ずる科目として、設定されている養成校が多数存在する。（ⅰ川畑尚子筆頭、大阪キリスト教短期大学による表現の基礎となるピアノ授業・ⅱ紙屋信義　後藤みゆき著、東京未来大学研究紀要2008年第一号　ピアノによる子どもの歌伴奏の効果）

本学院音楽関連科目「器楽Ⅰ」（必須）･「器楽Ⅱ」･「器楽Ⅲ」･「器楽Ⅳ」では、個人ピアノ実技レッスンを毎週一人あたり約15-20分充てている。個人のレベルに合わせた教則本を用いて、保育者に求められるピアノの基礎テクニック習得と童謡曲集を用いて弾き歌い実技を充実させることを目標としている。特に弾き歌いは、幼稚園・保育所・認定こども園（以下、「保育現場」とする）で働く先生方が抱えている袋小路に入り込む悩みとなる技術であるため、本学院では、弾き歌いを学生たちが保育現場で、そのまま活用できることをねらいとして、特に強化した指導を行っている。

筆者は2021年５月、保育者の抱えているストレスについて、現職幼稚園教諭５名、現職保育士５名、元幼稚園教諭５名に、コロナ禍を配慮して、LINEによるテレビ電話にて調査を依頼実施した。結果内容について、保育現場に対することでは、人間関係・保護者対応の悩みがメインであった。保育者自身の悩みとしては、実技面の指導力不足、長時間労による体力面の問題が挙げられた。特に実技面の抱えている内容について尋ねてみると、ピアノ実技が不十分なために子どもたちを指導しきれていない・弾き歌いや音楽指導（劇・合奏・セレモニー関連行事）に自信を持てないことに悩み、ストレスを感じているという回答であった。今回の調査協力者15名は、皆、面識のある方なので、通常ではプライバシーに触れるためお尋ねし難い事柄まで聞き取りさせていただいた。その中で、元幼稚園教諭５名に、退職理由を尋ねると、ピアノ実技がネックで退職した方が４名であった。また、色々な体験談を聞いていると、学生たちのピアノ実技面は、やはり強化させておくべきであると痛感した次第である。

また、平成30年度４月に施行され、『幼稚園教育要領』『保育所保育指針』『幼保連携型認定こども園教育・保育要領』（以下、『要領』とする）が改訂に伴い、保育者養成校においては、授業内容

及びカリキュラム編成が必要である。『要領』改訂のポイントをよく理解し、現在の保育者に求められていること・保育現場の貴重なナマの声も組み込みながら、保育者養成校の音楽関連科目は、新しいカリキュラムに対応して行かなければならない。

領域「表現」という観点から、子どもたちにとって「音楽」とは、毎日園で過ごす生活の中で、常にあらゆる形で関わりを持ち、必要不可欠なものであると考える。

３法令の改訂に伴い、養成校の音楽関連科目授業内容は、領域「表現」に対応する時、どうあるべきなのかをよく思考し、幼児教育が小学校教育まで、長いスパンで見据えたつながりが持てる内容を目指したい。子どもの表現力と感性を音楽の持つ力によって、無限に引き伸ばせる授業内容になる様、学生たちにアンケート協力をしてもらい得た結果を、領域「表現」（音楽）のカリキュラム編成に活かすことを目的に調査を行い考察する。

key words：　領域「表現」 保育者養成　幼児教育　カリキュラム編成　音楽表現活動　幼小連携

２．アンケート調査方法

カリキュラム編成に伴い、音楽関連科目、領域「表現」（音楽・器楽）の授業に役立てることを目的として、無記名方式で学生にアンケート調査を実施した。

〈音楽・器楽授業に役立てるためのアンケート（４月）〉

	設問内容
①	保育者になりたいと思ったのはいつの時期からですか。
②	保育者になりたいと思った理由を記入してください。
③	どんな保育者になりたいですか。目標とするあなたの保育者像を書いてください。（複数回答可能）
④	現在のピアノの進度について例を参考に記入してください。　例：未経験です。・バイエル80番
⑤	弾き歌いはできますか。（下記より〇印で選択） はい　　・　　いいえ
⑥	⑤で「はい」と答えた場合、何曲、弾き歌いができますか。
⑦	実習の場で、あなたが園児たちと一緒に歌いたいと思う曲があれば、幾つでも記入してください。
⑧	幼少時代を振り返って心に残っている手遊びうたがあれば、幾つでも記入してください。
⑨	毎日のピアノの練習時間を教えてください。
⑩	あなたの自宅･寮には、バイエル等のメソッドを自主練習できる楽器はありますか。（ピアノ･キーボード・エレクトーン等鍵盤楽器を含む）

（１）調査対象者：

本学院１回生51名

（２）調査期間：

令和３年度４月（入学後授業内実施済）・８月（前期考査終了時実施予定）

器楽Ｉは個人レッスンのため、１回生全体授業である音楽Ｉの授業内を利用して調査を実施した。

（３）調査内容：

音楽関連科目を総合したアンケート内容は、保育者になりたいと思った時期等の設問、入学時のピアノ学習経験や練習時間等の設問、多岐にわたる内容を調査した。

現在学習しているピアノ進度等の設問、実習や保育の現場にて、音楽Ⅰ・器楽Ⅰの授業は、役に立つ内容かどうか等のアンケート調査は８月に実施予定である。

３．結果と考察

〈音楽・器楽授業に役立てるためのアンケート（４月)〉(参照)、各設問①から⑩について、調査結果は、図又は表として表示。そして、考察内容等も記するようにした。

設問①　保育者になりたいと思ったのはいつの時期からですか。　結果：図１参照

学生たちが、保育者になりたいと思った時期の上位は、「中学生」16名、「小学生」14名、「高校生」10名、「乳幼児期」７名、以下略（図１参照)。回答が多い中学生時になぜ、将来設計がなされるのかを調べてみた。中学校２．３年時の取り組みである職業体験は、製造業・医療機関・介護施設・小売販売業・教育機関の中から、各中学校が直接相手先に受け入れを依頼する。その中で、職業体験先として、幼稚園・保育所を受け入れ先に選定している中学校が多いことがわかった。設問②結果:表２参照によると、学生たちは、職業体験を通じて、実際に就きたい職業に導かれたと言える。また、よろず堂通信2021年、大人になったらなりたいものベスト10（第一生命編）の統計を参考に、小学生・中学生・高校生（男女別）の「保育者・幼稚園教諭」のランキングを調べてみた。小学男子該当なし、小学女子第３位、中学男子該当なし、中学女子第６位、高校男子該当なし、高校女子第５位という結果で、女子には常にベスト10に入る人気の職業であることがわかった。

図１　保育者になりたいと思った時期

設問②　保育者になりたいと思った理由を記入してください。　結果：表２参照

学生たちが保育者になりたいと思った最も多かった理由は、「子どもが好き」15名であった。続いて、「職業体験」７名、「保育者である母の姿を見て」５名、「保育者に憧れて」５名、以下略（表２参照）。結果から考察すると、学生たちには、それぞれ、幼少時に関わりを持った憧れの存在で

表２　保育者になりたいと思った理由

	人数
・子どもが好き	15
・職業体験	7
・保育者である母の姿を見て	5
・保育者に憧れて	5
・小さい子どもの面倒をみるのが好き	5
・子どもと遊ぶのが好き	4
・園児時の担任の先生が優しくて、先生のような人になりたいと思った	4
・目標となる先生の存在に憧れて	3
・子どもに関わる仕事をしたい	3
・兄弟や小さい子どものお世話をしている時にほめられた	3
・兄弟のお世話が好き	3
・親族が保育者で感銘した	2
・好きなことを仕事に持ちたい	2
・ずっと習っていたピアノを生かせると思った	2
・幼少期周りに障害を持つ子どもや施設で生活する子どもが多く、その子どもたちに助けてもらった恩返しがしたい	1
・保育所の先生がピアノを弾いている姿を見てから夢が決まり、２歳からピアノを習い始めてからも夢が変わらなかった	1
・母園の男の先生がすごくよかった	1
・大人が嫌い	1
・親族が里親活動をしていて、施設の子どもと関わる機会を得て、色々な子どもを助けてあげたいと思った	1
・小学６年卒業式時、特に夢が決まっていなかったが、将来の夢を宣言する機会がきっかけ	1
・事務職、サービス業を経験後、学童に関わったことで、人と関わる仕事が合っていると思った	1
・子どもの成長を一番身近で感じられる職業だから	1
・子どもの純粋な笑顔を守りたい	1
・子どもに癒されるから	1
・子どもと仲良くなるのが得意	1
・好きな人が子ども好きで影響を受けた	1
・兄弟や従兄弟が多く可愛かった	1
・教育関係の職業に就きたい	1
・家族のススメ	1
・ピアノを弾くことが好き	1

ある保育者・尊敬する保育者が存在していることがわかった。また、既に幼児期に、将来の職業は保育者になりたいと想うほど影響を受けている事例があることもわかった。保育者は子どもたちに夢を与える職業である。子どもたちにとって生まれてから初めて長い時間を共に関わる大人は、お父さん・お母さん、そして保育者であろう。結果からいえることは、我々養成校の教員は、子どもたちにとって憧れの存在と思われるような魅力的な保育士・幼稚園教諭・保育教諭の育成に務めなければならないと尚、痛感した次第である。

設問③　どんな保育者になりたいですか。目標とするあなたの保育者像を書いてください。
（複数回答可能）　結果：表３参照

学生たちが目指す保育者像はどういった先生かという設問では、「先生や保護者、子どもたちに慕われ頼られる先生」11名、「一人一人としっかり向きあう」６名、「笑顔で接する保育者」５名、「子どもたちを大切にする」４名、「子どもたちを笑顔にできる保育者」４名、以下略（表３参照）。

保育者像について、保育者就職ドットコム（2021）を調べてみると、子どもから見た理想の保育者像とは、「子どもを上手に褒められる」「子どもの気持ちに寄り添える」「子どもの存在を認められる」であり、保護者から見た理想の保育者像とは、「子どもへの愛情が感じられる」「子どもに関する相談を気楽にできる」「こまめに報告や連絡をしてくれる」との記載があった。

アンケート統計から得た学生たちの目指す保育者像には、保育者就職ドットコムと同様に、保育者に望まれている事柄が、子どもから見た理想の保育者像・保護者から見た理想の保育者像両方の内容と合致した回答が多数あった。養成校の立場から保育者像について、結果から考察すると、学生たちには、自分自身を深く探求する力･周囲の細やかな心情や状況に気がつく力を身につけさせ、学生のうちに「理想の保育者像」のイメージをしっかり持たせることが重要であるといえる。

表３　学生が目指す保育者像

	人数
・先生や保護者、子どもたちに慕われ、頼られる先生	11
・一人一人としっかり向きあう	6
・笑顔で接する保育者	5
・子どもたちを大切にする	4
・子どもを笑顔にできる保育者	4
・自身も全力で楽しめる保育者	3
・いつでも明るく元気を与えられる保育者	3
・園に居るだけでなく、子どもの未来を考えられる保育者	2
・保護者に寄り添える保育者	2
・子どもたちがのびのびと安心して楽しめる環境を作ることのできる保育者	2
・周囲に気配りができる	2
・優しい保育者	2
・子どもたちを平等に愛することができる保育者	2
・一人一人の個性を引き出してあげられる先生	2
・子どもの気持ちに寄り添える優しくてメリハリのある先生	2
・子どもの悩みをいち早く察知できる先生	2
・子どもたちの見本となれる先生	2
・子どもたちに優しく寄り添えられる保育者	2
・子どもたちの目線に立つ	1
・子どもたちと元気に接し、たくさんお昼寝ができる	1
・保育者であることを喜べるようになる	1
・体をたくさん動かせる先生	1
・笑顔いっぱいの面白い先生	1
・子どもに囲まれて、テキパキと動ける保育者	1
・夢いっぱいきらきらした子ども達にそのままの純粋な気持ちのまま大人になって欲しいので、自身も夢いっぱいの保育者になりたい	1
・子どもたちが健康で幸せな人生が送れるようにサポートできる保育者	1
・仕事に遅れず対応できる保育者	1
・責任感がある先生	1
・臨機応変な対応できる保育者	1
・話し上手聞き上手な保育者	1
・ダメなことはきちんと注意できる先生	1
・子どもに温かさを感じさせることのできる保育者	1

設問④　現在のピアノの進度について例を参考に記入してください。　（例：未経験です。・バイエル80番）

結果：図２参照

入学時のピアノの学習進度であるが、「未経験者」49%となっており、全体の約５割を占めている。

図２　入学時のピアノ学習進度

初心者は約３割、バイエル90番台後半以降の学習者は約２割となる。保育現場で求められる、弾き歌いができるというレベルの学生が、入学時には僅かの学生しかいないことがよくわかる。

現時点で、バイエル前半の学生のピアノ演奏状況はというと、おそらく両手で弾くだけでもやっとの状態であろう。ましてや弾き歌いは、「歌う」「ピアノを弾く」を同時に行う演奏技術であって非常に複雑な技術である。「表現」として、簡単な音の強弱表現は付けられたにしても、相手に語りかけるように心を込めて歌って演奏することは、ピアノ初心者である多くの学生には困難な課題となってしまうだろう。

２年間で、保育の現場でピアノ実技面で困らない保育者を送り出すためには、

１．保育者に必要とされるレベルに沿ったピアノ指導の実施

２．伴奏法の習得

３．画期的で臨機応変の効いた弾き歌い方法の伝授

４．ピアノで表現する力を活用して、子どもたちの感性を引き出す

が必要であると考える。

保育現場で、子どもたちの感性や表現力を大切に育てられる保育者の育成には、まずは、学生たちの表現力や感性が豊かに富んでいて、バリエーションの幅を持ち合わせられるような指導に取り組み、今後の課題として、授業に「表現」の枠を超えて他の領域との融合した授業形態を取り入れていかなければならないと考える。養成校の教員が、常に新しい発見や感動に導ける活動に音楽を取り入れていくためには、指導法の工夫や豊富なバリエーションを指導者が持つことが必要である。

設問⑤　弾き歌いはできますか。（下記より◯印で選択）

はい　・　いいえ　　結果：図３参照

弾き歌いの経験有無について、入学時点でピアノの学習者であっても、弾き歌いの経験のあるものは約２割、経験のないものは約８割であることがわかった。

図３　弾き歌いの経験の有無について

本学院のピアノ学習者であっても、次項、設問⑥も兼ねて考察すると、弾き歌いは皆初心者の域である。

一般的に「弾き歌い」は、保育や教育の実践の中で、子どもの歌唱活動を豊かにするための技術である上、子どもの更なる表現の幅を引き出すためのものである。子どもの未知なる表現力を引き出しに繋がるように、ただ単にピアノで音程を正しくとって歌うだけではない。

例えば、音の大きい・小さいを子どもたちにわかりやすく伝えるためにはどうあるべきかと考えた時に、ピアノだけで表現するのではなく、色々な楽器に触れさせ（領域「環境」）、子どもが受け入れやすい楽器であれば、太鼓を使って強く叩く・弱く叩く、音の大小を子どもに身体を使って表現させ（領域「健康」）体感させると領域の幅が広がる。体感して感じ取った大きい・小さいを実際に言葉の理解（領域「言葉」）に繋げることによって、子どもの５領域の幅は枠を超えて未知のものとなってゆく。

それから、学生たちには、ピアノ伴奏で音の大小強弱をどのように弾けば子どもたちに伝わるか・歌声での大小の表現法・身体表現として身体での大きい・小さいの表現等を取り入れながら、子どもの「表現活動」に必要なことは何かということを常に考えながら保育の現場で毎日の日常の中で進めていける保育者が、今回の法改定には求められているように思う。

さて、弾き歌い経験のない学生に対しての指導法は、まずは簡易伴奏譜のピアノ伴奏がしっかり弾けるようにしてから、テンポがブレることなく、弾けること。そして、次に、ピアノ伴奏を弾きながら、正しい音程でリズムに乗せて歌えるようにすることである。たとえピアノ初心者であっても、ピアノ実技・声楽面では、音の大小の表現をつけることは初期から可能である。必ず「音楽的表現」法は、ピアノ学習の初期から必要である。これは、急に出来るようになる技術ではないので、筆者の場合、ピアノ実技レッスン中に、基礎テクニックと音楽表現の大切さが重要と考え、ピアノの手ほどきの段階から取り入れたレッスンを行っている。

領域「表現」音楽の分野は、子どもたちの感性や表現を豊かにする要素をたくさん持ち合わせている。日本には、四季があり、人々は季節の移り変わりや豊かな自然の営みと共に生活してきた。そこから生まれた童謡の歌詞の中には、その様子を歌われたものが数多くあり、歌いながら自然と様子をイメージできるうたがたくさん存在する。

子どもたちは、保育者のピアノ伴奏による弾き歌い・歌あそびを通して、日本の四季を感じ取ったり、リズム感や強弱表現を楽しみ、そこから、例えば、「はないちもんめ」のように遊びとの結びつきがあるうたもある。このように、領域を超えて、他の領域との関わりを持ちながら互いに発展していくのである。

〈参考に〉

花一匁とは、外遊びであり、子どもたちが手をつないで、わらべうたを歌いながら身体を動かす遊びである。２グループに分かれて、お互いに、とても大きな声で歌うが、それぞれのグループが一致団結する様子が特徴的である。異年齢保育のレクリエーションとしても取り入れることができる。遊びのねらいとして、遊びに楽しみながら歌を取り入れることで、わらべうたに親しみを持てる点、子ども同士、協力して遊ぶ中からコミュニケーション力や協調性を高められる点、全身を使って遊び、体力やバランス感覚を養う点が挙げられる。

設問⑥　⑤で「はい」と答えた場合、何曲、弾き歌いができますか。結果：図４参照

弾き歌い経験者各々の演奏可能なレパートリー数は、一桁という結果であった。

保育現場では、日本の四季・行事に見合ったうたを、表現活動のツールとして用いている。子どもたちの「表現」を豊かにさせるために、保育者の育成には、ⅰ）音楽・歌詞と関連する絵本の活用ができる、ⅱ）他の領域との融合性を常に考察できる、ⅲ）考察した思考力・アイデアを工夫できる人材が求められると考える。やはり、領域「表現」を充実させるために、２年間で、持ちレパートリー数は、50曲を目標に強化したい。

図４　弾き歌い経験者（11名）の現在演奏できるレパートリーの数

設問⑦　実習の場で、あなたが園児たちと一緒に歌いたいと思う曲があれば、幾つでも記入してください。結果：図５参照

データから見て言えることは、「虹」６名、「ぶんぶんぶん」５名、「世界中の子どもたちが」３名、「カエルの歌」３名、「これから色々な曲を知ってから決めたい」が３名となった。続いて、「きらきら星」・「むすんでひらいて」・「思い出のアルバム」・「小さな世界」はそれぞれ２名ずつとなっており、誰でも知っていて簡単に弾ける曲で子どもたちが覚えやすい曲が上位となった。以下略（図５参照）。

あまり多数抜きん出て、選ばれた楽曲はなかったことが今回結果の特徴と言える。その代わりに、数多くの候補曲が挙げられる形となった。これは、学生たちそれぞれが童心に戻って好みの童謡を、園児たちと歌いたいという趣向性によるものと判断し推測する。

ところで、令和３年６月現在、最も売れている童謡CDには、どのような曲が選曲されているのかを調べてみた。Amazon売れ筋童謡ランキング１位になっているCDは、『レッツ・ゴー！令和キッズ子どものヒットソング～うたっておどってノリノリMAX』（キングレコード製）、２位が『（令和KIDS）保育園・幼稚園・こども園で人気のどうよう&あそびうた100～どんどん歌える！楽しい歌と遊びがどーーんと100曲大集合！～（遊び歌解説つき）』（キングレコード製）であった。１位・

２位CD収録曲を下記に掲載する。令和に発売された２種類のCDの収録曲の中に、学生たちが子どもたちと歌いたいと思っている曲がどれくらいあるか調べてみた。図５で学生たちの選択した楽曲と合致したものは、下記の収録曲名をボールドして表示させたところ26曲あった。学生たちが園児たちと歌いたと思っていた上位に入った曲「虹」「ぶんぶんぶん」「カエルの合唱」「むすんでひらいて」はCDに収録されていたが、思いの外、誰でも知っている「世界中の子どもたちが」「きらきら星」「思い出のアルバム」「小さな世界」は収録されていなかったことは、時代の流れによるものなのだろうか。今後、歌い継がれていく曲とはどういうものか研究を進めたい題材である。

図５　実習先で園児達と歌いたいと思っている曲

〈収録曲〉

01. ぽよよん行進曲　コラボ動画でたくさんの人に元気をくれた応援ソング
02. パプリカ　・・・・・・・・・ 紅白歌合戦でも歌われたキッズ・ヒット曲
03. **エビカニクス**～キッズ・バージョン（エクササイズ） 幼稚園保育園で大人気のエクササイズ
04. からだ★ダンダン（たいそう） 子どもがみんな踊り出す、からだダンダンダンッ♪
05. バスにのって〈サバンナ編つき〉（体あそび）☆・ 大人気遊び歌、スペシャルなサバンナ編もついています！
06. しゅりけんにんじゃ（体あそび）☆ ひろみちお兄さんの歌声でパパママもノリノリ♪
07. おしりフリフリ・・・・・・・・・・・・ ちいさな子どもがおしりをフリフリする姿ってキュートすぎます
08. **さんぽ**・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ご存知、となりのトトロの主題歌。家族みんなで歌おう！
09. 勇気りんりん・・・・・・・・・・・・アンパンマンの主題歌。キャラクターがいっぱいでてきて楽しいね。
10. ププッとフムッとかいけつダンス・・・・・・・・・・ 途中で出てくるオナラの音は、子どもたちすぐにマネしちゃうかも？！
11. イントゥ・ジ・アンノウン～心のままに・・・・・・ 大ヒット「アナと雪の女王2」の主題歌。気持ちよく伸びる高音に憧れます。
12. ベイビー・シャーク〈サメのかぞく〉英語ソング）・・・・ TicTokや野球選手のテーマ曲としてもおなじみ。英語の勉強にも!
13. はらぺこカマキリ・・・・・・・・・・・・・・・・・ カマキリ先生作詞の話題曲。どこか懐かしいサウンドと深い歌詞に大人もハマっちゃうかも。
14. おまめ戦隊ビビンビ～ン・・・・・・・・・・・・・ 面白おかしい歌だけど、勇気とパワーがもらえるよ♪
15. ようかいしりとり・・・・・・・・・・・・・・・・日本の妖怪がオンパレード！しりとりになっているよ。
16. はじまりバーン！・・・・・・・・「みいつけた！」の人気ソング。とにかく元気でちゃう！踊っちゃう！
17. べるがなる・・・・ この歌を歌ったら保育園や幼稚園、のお家も? 親子で手をつないで歌いたい曲ですね。
18. ブレーメンのおんがくたい・・・・・・・・・・・・・ グリム童話のお話をギュッと短くしたゆかいな歌。絵本も読みたくなっちゃうね。
19. はたらくくるま1 ・・・・・ のりもの大好きっ子たちへ。パパママも歌えるファミリーソングの決定盤！
20. すいかの名産地・・・・・・・・・・・・スイカを見るとついつい歌いたくなる、おいしいこどもソング。
21. **きのこ**・・・・・・・・・・・・・・・ 「ぞうさん」を作ったまど・みちおさんの作詞です。「き、き、きのこ」の繰り返しが子どもたちは大好き!
22. となりのトトロ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・子どもから大人まで大好き、トトロの主題歌です。
23. アンパンマンのマーチ・・・・・・ こちらも子どもから大人まで歌えるエバーグリーン・ソングですね！
24. あわあわ手あらいのうた ☆ ・・・・・・・・・・手洗いを楽しく教えてくれる歌です。イラスト解説つき。
25. はをみがきましょう・・・・・・・・・・・・・・・・ 幼稚園や保育園でも歌われることの多い歯磨きソング。お家でもぜひ歌ってください。
26. オフロスキーかぞえうた・・・・・・・・・・・・・・「もう出た～い！」「まだまだ～」そんな会話時に歌ってほしい、楽しいおふろソング。
27. おどるポンポコリン・・・ こちらも不滅のファミリー・ソングですね！みんなでぴ～ひゃらぴ～ひゃら♪
28. 勇気100%　・・・この歌をうたうと元気になれる！心がちょっと弱った時に歌ってあげたいパワーソング。
29. トゥモロー～ミュージカル「アニー」より　・・・・・夢と希望を明日に運んでくれる素敵ソング。映画もあわせて観たくなります。
30. **にじ**(保育ソング)・・・・・・・・・・・・・・・・・ 保育園幼稚園で30年以上歌われ続けている、嬉しい時にも悲しい時にも口ずさみたくなる名曲！お家でもぜひ歌ってくださいね。

〈収録曲〉

ディスク 1

1. **ぞうさん** 2. いぬの おまわりさん3. おはなが わらった 4. **チューリップ** 5. せんせいと おともだち 6. **むすんで ひらいて**【あそびうた】7. **グーチョキパーで なに つくろう**【あそびうた】8. やまの ワルツ 子 9. **ぶんぶんぶん**10. ことりの うた 11. おうま 12. パンダ うさぎ コアラ【あそびうた】13. バスに のって【あそびうた】14. **さんぽ** 15. **おべんとう** 16. ピクニック（1と5で）【あそびうた】17. おはなし ゆびさん【あそびうた】18. **こいのぼり** 19. おかあさん20. あめふり（1～3番）21. **かたつむり** 22. **かえるの がっしょう** 23. あめふり くまのこ 24. たなばたさま 25. **おおきな ふるどけい**

ディスク2

1. アイアイ 2. **とんでった バナナ** 子3. アイスクリームの うた 4. **おばけなんて ないさ** 5. ツッピン とびうお 6. いっぽんばし にほんばし【あそびうた】7. かみなりどんが やってきた【あそびうた】8. おへそ 9. おんまは みんな 10. おつかい ありさん11. おなかの へる うた12. **おべんとうばこの うた**【あそびうた】13. カレーライスの うた【あそびうた】14. ぼくの ミックスジュース15. **手のひらを 太陽に** 16. すいかの めいさんち 17. トマト 18. あひるの ぎょうれつ 19. みずあそび 20. **シャボンだま** 21. おふろ ジャブジャブ 22. うみ 23. ゆうやけ こやけ24. ゆうがたの おかあさん 25. ふうりん

ディスク3

1. もりの くまさん 2. おおきなくりの きのしたで【あそびうた】3. **とんとんとん ひげじいさん**【あそびうた】4. どんぐり ころころ 5. まつぼっくり6. **とんぼの めがね** 子7. **バスごっこ**【あそびうた】8. やきいも グーチーパー【あそびうた】9. くいしんぼゴリラの うた【あそびうた】10. **きのこ** 11. やまの おんがくか 12. **おもちゃの チャチャチャ** 13. ごひきの こぶたと チャールストン 14. クラリネットを こわしちゃった団15 . ドレミのうた16. きしゃポッポ 17. げんこつやまの たぬきさん【あそびうた】18. おてらの おしょうさん（平成版）【あそびうた】19. 証城寺の たぬきばやし 20. うさぎの ダンス21. つき22. むしの こえ 23. こおろぎ24. ちいさい秋 みつけた 25. ゆりかごの うた

ディスク4

1. **どんないろが すき** 2. あたま かた ひざ ポン【あそびうた】3. いとまきの うた【あそびうた】4. あら どこだ 5. ふしぎな ポケット6. ドロップスの うた 7. ねこふんじゃった8. サッちゃん 9. やぎさん ゆうびん 10. かわいい かくれんぼ br> 11. **てを たたきましょう**【あそびうた】12. こぶたぬきつねこ【あそびうた】13. ずいずいずっころばし【あそびうた】14. **そうだったら いいのにな** 15. 北風小僧の寒太郎16. コンコンクシャンの うた 17. こぎつね 18. おしょうがつ 19. ゆき 20. ももたろう（1～3番）21. おにの パンツ【あそびうた】22. うれしい ひなまつり【ひなまつり】23. めだかの がっこう24 . いちねんせいに なったら 25. にんげんって いいな

設問⑧　幼少時代を振り返って心に残っている手遊びうたがあれば、幾つでも記入してください。
結果：図６参照

幼少時代の記憶で心に残っている手遊び歌について、上位のものは、「グーチョキパーでなに作ろう」12名、「キャベツの中から」・「トントントントンひげじいさん」それぞれが11名ずつ、「むすんでひらいて」８名であった。手遊び歌の上位曲は、抜きん出て学生たち皆に選ばれた曲が４曲挙がった。その他は、図５と同様、少数意見による候補曲多数ありという結果であった。以下略（図

６参照)。

多数の学生に選ばれる手遊び歌には、何か共通点があるのではないかと思い調べてみた。(楽譜１・楽譜２・楽譜３参照)

図６　幼少時代の記憶で心に残っている手遊び歌

楽譜１　グーチョキパーでなにつくろう

楽譜１　グーチョキパーでなにつくろう

楽譜２　キャベツのなかから

楽譜２　キャベツのなかから

楽譜３　とんとんとんとんとんひげじいさん

楽譜３　とんとんとんとんとんひげじいさん

まず歌詞には、同じ言葉が何度も使われているという共通点が見られた。また、楽譜と比較して、音楽的表現の面からは、音域は狭く限られており、楽譜１（一点ハ音から二点二音）、楽譜２（一点ハ音から二点ハ音）、楽譜３（ロ音から一点イ音）であった。

拍子は３曲共に４分の４拍子で、子どもたちの一番乗りやすいカウントしやすい拍子である。そして、この３曲はテンポがゆっくりで、子どもたちにとって受け入れやすいという共通点がある。乳幼児期は、発育の関係からまだ、速い楽曲はノリずらいテンポである。

使用させている音符の種類は、四分音符（１拍）・八分音符（0.5拍）が続けて２回連続して叩く

リズム型のパターン♫・二分音符（２拍）・休符は四分休符（１拍休む）のみという、拍数の取りやすい音符や休符が使われている点が挙げられる。

領域「表現」音楽的な面から、これらの３曲について、拍子を表現する場合を取り上げてみる。手で叩いて音の大小を表現する・小さくからだんだん強くなるように足踏みで強弱を表現する・好きな楽器を使って、リズムを刻んでみる表現・自身の体の好きな場所を手で叩いてリズムを取る身体表現など、拍子を「表現」するだけでも、ありとあらゆる表現活動が生まれる。

これらの３曲に、５領域を意識して、音楽表現の枠と他の領域との融合させたい場合は、ピアノ伴奏による音楽に合わせて、歌詞を言葉として発する（環境・言葉）・隣にいる友達とリズムに乗って、手と手を合わせる動作をすることにより（健康・人間関係）、手指の刺激させ、器用に手先を動かすことで、まさに「表現」の枠をこえて融合しているといえよう。

次に、保育者が弾き歌いするという観点から、この３曲の共通点を探求してみる。

先程述べたように、旋律（メロディー）に使用されている音符の種類は複雑ではなく、非常に基礎的な音符や休符の種類のみで書かれている楽曲である。あまりピアノに自信のない保育者でも取り入れやすい曲で、弾き歌いするのにも易しい。

伴奏する面から探求すると、コードネームについては、楽譜１は（Fのみ）・楽譜２は（F・C_7）・楽譜３は（D・A_7・Em・B_7・F♯m）となっており、それぞれの楽曲の主要三和音さえマスターすれば、簡易伴奏パターンに当てはめると、個々のピアノのレベルに応じた伴奏が可能な曲となっている。（図７参照）

＜楽譜1.2.3に使用されているコードネーム・簡易伴奏パターン例＞

図７　楽譜1.2.3に使用されているコードネーム・簡易伴奏パターン例

上位にこれらの３曲が抜きん出て選ばれた理由として、子どもたち・保育者両者にとって、受け入れやすい曲であるということがわかった。保育者にとって、伴奏が簡単に弾苦ことができ、子どもたちを指導しやすく、何よりも子どもたちの心を惹きつけることができる曲を選曲する能力も保育者には求められる大切なことであることが、統計から分かり得た点である。

さて、先程の令和に発売された売れ筋となっている２種類のCDには、設問⑧結果:図６参照には、学生たちが幼少時代から心に残っている手遊び歌は、令和時代にはどれくらい受け継がれており、

収録されているのかについて調べてみた。収録曲の下にアンダーラインを引いて区別してみたところ、10曲あった。昔ながらのお馴染みの手遊び歌が令和発売のCDにも収録されており、日本の手遊び歌は、大正・昭和・平成・令和と時代を越えて、伝承されていることがわかった。

令和に生まれた子どもたちと人生の先輩である高齢者に共通して慕われている手遊び歌や日本の童謡は、日本の心の歌・幼児教育の伝統として、これから先の時代も、保育者を通じて、大切に歌い継がれ、伝承して守るべきものがあることを学生たちに伝授していく必要性を感じた。

設問⑨　毎日のピアノの練習時間を教えてください。　結果：図８参照

科目「器楽Ⅰ」の臨み方について、１回目の授業は、ピアノ開始段階チェックテストを実施。その後、学生たちにはピアノの上達の近道は、毎日の積み重ねが大切であることを伝えている。

学生それぞれのピアノ開始段階決定方法については、学生自らが登録したチェックテスト曲を、３人の器楽担当教員の前で試奏してもらい、その仕上がり具合やテクニック等を教員間で総合的に判断し、学生個々のピアノの学習開始段階決定する方法を採用している。その後、担当教員からそれぞれの学生に課題等が配布される流れとなっている。このアンケート調査は、チェックテスト後、同じ週に開講された音楽Ⅰ授業時に実施した。

調査結果を見てみると、「30分以上１時間未満」18名、「15分以上30分未満」17名、「15分未満」６名、「１時間以上２時間未満」５名、「２時間以上」１名、以下略（図８参照）となっており、約９割の学生が、練習時間に差はあるが、毎日ピアノ練習をしていることがわかった。真面目に取り組もうとする姿勢がとても素晴らしいと思う。意欲溢れる学生たちの気持ちを、持続させるには、教員の指導力や学生たちとの信頼関係が築けるかにかかってくる。時には厳しく、時には褒めて伸ばす教育指導が求められるが、教員は学生たちに根気よく向き合うことが大切である。

図８　器楽Ⅰに対する、毎日のピアノの練習時間

設問⑩　あなたの自宅・寮には、バイエル等のメソッドを自主練習できる楽器はありますか。（ピアノ・キーボード・エレクトーン等鍵盤楽器を含む）結果：図９参照

本学院では、ピアノ練習室は開放しているので、空き時間（朝・昼休み・放課後）を上手に使って、ピアノの自主練習を確保するように指導している。決して、練習機材を準備するようにということは一切口にしたことはないが、自宅や寮に練習楽器があるかというアンケート結果では、約９割の学生が所持していることがわかった。この結果は、ピアノは弾けるようになりたい！保育者・幼稚園教諭になりたい！という学生たちの強い意思表示であると受け止める。

アンケート結果から、学生たちは園児たちと歌いたい曲や幼少時代を振り返って心に残っている手遊びうたについて、曲名を挙げてもらうと、本当にたくさんの楽曲名が挙げられた。そのことを総合的に判断すると、学生たちが育った幼少期には、きちんと領域「表現」と言うべきものを経験･体験して育成されていると言える。学生たちが、各々の幼少時代を振り返った時に、毎日の園で生活を送る中で楽しかったこと、お世話をしてくれた優しい先生のこと、先生のピアノ伴奏に合わせてみんなで歌ったこと、毎日朝と帰る時に歌っていた歌、運動会の鼓笛隊の演奏、行事での保育者の生演奏などが思い出されることだろう。学生たちが今、保育者を志望する立場になって、幼少時代に憧れていた保育者との関わりを各々が振り返って考えた時、やはり、保育者になるには、ピアノは弾けるようにならなければという強い思いになるに違いない。

図９　自宅や寮で練習するためのピアノ・キーボード等の有無

４．総合考察

（１）調査結果からの考察

学生たち各々は、ピアノ実技の習得について、保育者になるには、必要不可欠だと強く思っていることがわかった。

保育現場での実習や採用試験においては、ピアノの実技を含む音楽表現技術が求めらるため、本学院はじめ、他の保育者養成校でも、学生たち・担当教員共に、特にピアノ実技習得に力を注いでいることは事実である。しかし、保育者養成校の音楽指導において、最も大切なことは、子どもたちと共に音楽活動を楽しむ中で、子どもたちの感性を音楽というツールを利用して、引き出せる保育者を育成するが音楽に関する幅広い技術や知識、アイデアの活用や工夫する能力、臨機応変に対応できる能力を持ち合わせておくべきである。

領域「表現」から子どもたちの感性や表現活動を豊かに充実させるために、常に子どもたちの発育状態に目を配り、表現活動へのつながりを心がける必要がある。

やはり、領域「表現」にて、子どもたちに、音楽表現活動を通じて、豊かな感性を開花させるために、保育者は、基礎的な技術（ピアノ）をしっかりと学び、ピアノを自由に操れる弾き歌い技術を習得しておくべきである。

（２）保育現場におけるピアノの役割と表現

保育現場で保育者に求められることは、子どもたちの歌唱をリードし、多くの音楽的表現が可能なピアノ・鍵盤楽器で曲想に合わせた豊かな表現を用いて演奏するなど、保育者の様々な器楽表現が求められることがわかった。また障がいには、身体障がい・知的障がい・精神障がい・発達障がい・難病等の種類がある。筆者が学生時、寝たきりで重度の身体・知的障がいを持つ子どもに、ナマのピアノ演奏を聴かせてあげると、目を動かしたり、表情に輝きが見られ、指を僅かではあるが、身体反応があった。音楽には、障害を持つ子どもたちにも、表現活動から感性を引き出すことのできる要素が無限にある。保育現場・音楽療法においても、ピアノは多種多様に用いることが可能な楽器である。

最後に、保育現場でピアノを用いて演奏することの利点･ピアノの役割を分かりやすくまとめる。

ｉ）保育現場でピアノを用いて演奏することの利点

①その場で、直接、子どもとコミュニケーションを図れる。

②子どもたちの声域や音程・呼吸やテンポに合わせて演奏できる。

③②その子どもたちの様子から、強弱に変化をつけたり、表現の変更が可能。

④即興演奏・accel.を聴いて感受性を養わせ、明るい気持ち・悲しい気持ちの違いを体感させる。

⑤ピアノのナマ演奏を体感して、音楽・楽器に興味や関心を持たせる。

⑥子どもたちに寄り添いながら、演奏ができる。

⑦子どもたちの顔や表情を見ながら、臨機応変に対応できる。

ⅱ）保育現場におけるピアノの役割

①歌唱の伴奏。

②音感を育てる。

③想像を促し、子どもの表現を導ける。

④絵本、劇中、生活発表会の効果音として活用できる。

⑤合奏の１パート担当として又は、伴奏として用いられる。

⑥活動と生活の環境づくりに対応。アナウンス代わりに用いる。

・朝、お帰りのご挨拶時に「朝のうた」「おかえりのうた」を歌う。

・日常の習慣性（昼食、片付け等）。

・午睡の前にゆったりした音楽を演奏することで、その雰囲気を高めて心を落ち着かせる。

⑦行事（入・卒園式、その他式典）で奏楽として演奏。

⑧BGM演奏。

引用文献：

・文部科学省、2020、「幼稚園教育要項解説」、フレーベル館

・文部科学省、学習指導要領「生きる力」第２章　ねらい及び内容

・文部科学省、2018、「小学校学習指導要領　平成29告示　解説・音楽編」

・厚生労働省、保育所保育指針解説

・無藤隆、2018、「３法令すぐわかるすぐできるおたすけガイド」、ひかりのくに株式会社、p6-p26

・今泉明美　有村さやか、2018、「子どものための音楽表現技術　感性と実践力豊かな保育者へ」萌文書林、p124-p134、p160-p186

・小西行郎　小西薫　志村洋子、2017、「赤ちゃん学で理解する乳児の発達と保育　第２巻　運動・遊び・音楽」、中央法規出版

・ひかりのくに編集部、2011、「月刊　保育とカリキュラム　2011年７月号別冊附録」

・瀧信子ほか、2020、「乳幼児のための豊かな感性を育む　身体表現遊び」、株式会社ぎょうせい

・阿部直美、2021、「すぐできる　0.1.2歳児の手あそび&ピアノ伴奏」、中央法規出版、p78、p94、p104

・鈴木恵津子、2016、「改訂　うたっておどっておもちゃ箱１・２」、教育芸術者

・村上玲子　三島瑞穂、2017、「保育養成校における教科目　保育表現技術の捉え方と課題ー音楽担当者の立場からの考察ー」、宇部フロンティア大学人間生活科学研究紀要、53巻

・上田智佳、2016、「保育者養成校入学者のそれまでの音楽経験についての調査報告」、甲子園短期大学紀要、34巻

・川畑尚子（筆頭）、2017、「表現の基礎となるピアノ授業についてー関西圏の保育者養成校シラバスから本学のピアノ授業を考えるー」、大阪キリスト教短期大学紀要、57巻、p146-p153

・紙屋信義　後藤みゆき、2008、「ピアノによる子どもの歌伴奏の効果」、東京未来大学研究紀要、第１号、p67-p75

・山内信子、持田葉子、2016、「幼少接続期における音楽表現活動の検討」、聖和短期大学紀要、第

２号
・今井香織、2019、幼稚園教育における音楽活動のあり方ー小学校「音楽科」への接続を手がかりとしてー」、上田女子短期大学紀要、42号、p71-p73
・田原昌子、2015、「子どもの表現のためのピアノ伴奏法Ⅱ」プール学院大学紀要、56号、p153-p168
・キラキラキッズナーサリー輝きを奏でる音楽保育園HP URL :kirakirakids.jp
・マイナビ保育者HP　URL：haiku.mynavi.jp
・保育者就活バンク！ HP　 URL：hoikushi-syusyoku.com
・よろず堂通信2021 HP 大人になったらなりたいものベスト10 URL:yorozu-do.com
・保育si 外遊び　室内遊び URL：hoiku-si.jp
・Amazon　童謡売れ筋ランキングHP URL：amazon.co.jp
・CD『レッツ・ゴー！令和キッズ子どものヒットソング～うたっておどってノリノリMAX』、2021、キングレコード製
・CD『（令和KIDS）保育園・幼稚園・こども園で人気のどうよう&あそびうた100～どんどん歌える！楽しい歌と遊びがどーーんと100曲大集合!～（遊び歌解説つき）』、2021、キングレコード製